

# 事業評価表

(平成20年度実施事業)

事業CD. 0110102 - 17000

京 都 府 南 丹 市  
作成日: 平成21年05月03日

事業名	教育研究委託事業	事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直 営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等				所管部署名等
細事業名		委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体				教育委員会 学校教育課 担当: 寺田
事業区分	事業分類: (B) ソフト事業                      政策体系CD: 122 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 時限事業 (平成 年度迄)		<input type="checkbox"/> その他 ( )				
		関連法令・条例等	南丹市教育研究委託要綱				

## 【事業の概要】

- ①施策で目指す目標との関連付け  
 未来を担う人材育成という観点から、各校における地域性や独自性を基礎とした卓越性を  
 目指す取組。
- ②事業を実施する必要性  
 未来を担う人材育成という観点から、各校における地域性や独自性を基礎として、学びの  
 土台作りを中心としたテーマ設定により、各校の卓越性を目指した取組を進める施策として  
 必要。
- ③未実施事項  
 未実施事項なし
- ④他にも効果が見込める施策があるか  
 第4章5 未来を担う人づくりを進める  
 =卓越性を目指す様々な取組と積み上げによる人づくりという点から=

## 【事業費の推移】

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額	千円	2,980	2,249	5,539	3,300	
うち一般職、嘱託職、臨時職 給与および共済費等	千円	0	0	0	0	
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	
	国・府支出金	千円	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	
一般財源	千円	2,980	2,249	5,539	3,300	
職員等従事人員	人/年	—	—	0.33		
人件費	千円	—	—	1,958		
事業費総額	千円	—	—	7,497		

## 【主な支出の内訳】

「特色ある学校づくり研究委託事業」推進に係る研究委託費用  
 5,354千円 (小学校17校/中学校4校)

「学びに向かわせる就学前教育研究委託事業」推進に係る研究委託費用  
 120千円 (幼稚園2園)

## 【近隣市町村の取り組み状況】

近隣の取組はなし

## 【前年度の評価を受けて改善した点等】

学校教育における効果的な研究事業の位置づけについて、市指導主事会議等を通じて検討協議し、計画と進捗経過・結果報告に関する一連の流れについて工夫を加えた。

## 【所属長総括評価】

市の重点事項に照らした、各校・園長の裁量による研究委託事業として位置づけられており、各校園の実情に応じた効果的な取組実績は、市内児童生徒に還元されていくものと考えられる。今後の、学校教育の充実した教育実践を図る上においても、市内園校への波及効果を見ることがからも今後も必要な事業であると考えられる。なお、委託事業であることから、その経費の効果的な活用が図られるよう、計画・実践・評価に関し、一定の査定を行う事務手続きを検討した。

# 事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	122	事業名	教育研究委託事業		
事業CD.	110102-17000	細事業名			
所管部局	教育委員会	所管課	学校教育課	担当	寺田 成樹

110102-17000

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
小学校・中学校	<p>●「特色ある学校づくり教育研究委託」</p> <p>南丹市「指導の重点」に謳われている卓越性を目指した特色ある学校づくりに資することを目的に、各校における解決すべき課題や、発展させようとする命題に関する研究を行い、その実践内容を広く市内全校に波及させるねらいを持って実施した。なお、特色を積み上げる基礎は、各校の集団作りにあるという視点から、本事業の必須実践として「人権教育」を位置付けて行った。</p>	<p>●交付申請 5月</p> <p>●実践研究 6月～3月</p>	<p>市内全校に総額5,354千円を交付し、各校の特色に応じた実践が行われた。スポーツ活動の伸展と学力の充実を関連させた取組や、音楽活動から学校運営に活気を求めた活動等々の実践が展開され、今後は、その効果について客観的・具体的な指標を立てて測ることを次年度への改善事項とした。</p>
幼稚園	<p>●「学びに向かわせる就学前教育研究委託」</p> <p>幼稚園から小学校への「学びの連続性」に視点をおいた研究事業として位置づけ、特に、学びに向かわせるための就学前教育の在り方の内、園内環境の構成や家庭との連携をメインテーマとして実践を行い、その実践内容を広く市内園・校に波及させると同時に、小学校へのつなぎの在り方(実践方法)を確立させるねらいを持って実施した。</p>	<p>●交付申請 5月</p> <p>●実践研究 6月～3月</p>	<p>市内2園に総額120千円を交付し、各園の特色に応じた実践が行われた。園内の学びに向けた環境作りや、園保護者との共同研修の実践が展開され、今後は、その効果について客観的・具体的な指標を立てて測ることを次年度への改善事項とした。</p>